

2015年度 建設マネジメント委員会

# 研究成果発表会及び表彰式

主催:土木学会 建設マネジメント委員会

日時:平成27年8月3日(月) 13:00~16:35 (終了時刻は変更する可能性があります)

場所:土木学会講堂 新宿区四谷1丁目(外濠公園内)TEL 03-3355-3559

〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目外濠公園内

(JR「四ツ谷」駅の四ツ谷口より徒歩3分、地下鉄南北線「四ツ谷」駅の3番出口より徒歩3分、地下鉄丸の内線「四ツ谷」駅より徒歩5分)(<http://www.jsce.or.jp/contact/map.shtml>にて地図を入手できます。)

参加費:無料(資料代1,000円)

申込:下記のページからお申し込み下さい

(<http://www.jsce.or.jp/event/active/junction.asp?esd=45505>)

13:00~13:10

開会の挨拶 :建設マネジメント委員会 福本 勝司 委員長

## 【表彰式】

13:10~13:20

表彰発表 :表彰小委員会 加藤 和彦 小委員長

13:20~13:25

表彰状授与 :建設マネジメント委員会 福本 勝司委員長

13:25~13:35

論文賞受賞論文概要紹介 :受賞者

13:35~14:00

グッド・プラクティス賞概要紹介 :表彰小委員会

14:00

閉会

14:00~14:15

休憩

**【研究小委員会の部】 ※プログラムは変更になる可能性があります。**

14:15~14:45

**公共工事発注者のあり方研究小委員会の研究成果中間報告**

公共事業執行システムの抜本改革を進めるためには、品確法改正を踏まえて 1)発注者の役割を見直すことにより、事業の種類・規模、発注方式に応じて必要な発注者の体制を確保し、さらに 2)入札から支払いに至るコスト管理のしくみ、賃金決定のしくみ、そして元下関係など価格に関する商慣習や制度を国内外の比較を踏まえて見直すことにより、予定価格制度の見直しと併せて価格決定構造を民主体のものへと転換することが必要と考えられる。

本研究小委員会はその抜本改革のための方策を検討するものであり、今回の中間報告においては、これまでの検討状況と研究の論点について紹介する。

**公共工事発注者のあり方研究小委員会 (第1種)**

木下 誠也 (日本大学生産工学部土木工学科)、五十川 泰史 (一般財団法人 国土技術研究センター 技術・調達政策グループ) ほか

14:45~15:25

**競争的対話方式の理論的背景と  
欧州における実績及びわが国への適用課題**

「PFI 事業実施プロセスに関するガイドライン」にも記載されている“競争的対話方式”については、わが国の公共調達をとりまく環境を踏まえた実務に適用できるガイドライン等が現時点で見当たらない状況である。一方、EU 内では既に多くのガイドライン等が発表され、これまでも多くの競争的対話方式の適用実績がある。

本発表では、競争的対話方式の理論的背景を整理し、EU を中心とした諸外国における実施状況やガイドライン等とわが国における検討状況等を取りまとめた「欧州における実績とわが国への適用課題」について説明する。

上記に加えて、研究小委員会におけるその他の活動報告も行う。

**インフラ PFI/PPP 研究小委員会 (第1種)**

北詰 恵一 (関西大学)、大西 正光 (京都大学)、渡会 英明 (建設技術研究所)、宮本 和明 (東京都市大学)

15:25~15:40

**休 憩**

15:40~15:55

**環境修復事業におけるプログラムマネジメント導入に関する研究**

環境修復事業は一般建設事業と比べ、実績が少なく特殊性が高い事業である。そのため円滑に環境修復事業を進めるためには、個別事業 (プロジェクト) 間で必要な知識や技術等の共有を図ることが特に重要と考える。

本発表では、環境修復事業にプロジェクトを統合しマネジメントを行うプログラムマネジメントの手法導入について、環境教育や土壌環境行政等の環境修復事業に関する各課題から、その手法導入の有効性を検討・分析したプロセスや結果を説明する。そして本研究の課題と今後の方向性について説明する。

また、建設業界でのプログラムマネジメントの必要性を提案する。

**環境修復事業マネジメント研究小委員会 (第2種)**

下池 季樹 (国際航業株式会社)

15:55~16:25

### 建設分野の実務対応力(建設マネジメント力)の能力表現とその保有状況に関する調査分析手法についての提案

建設生産システムを構成する発注者、設計者、施工者の有する技術力について、特に、保有する知識やスキルを活用し現実の課題に適切に対応する能力＝「建設マネジメント力」に焦点を当て、その能力がどのような能力要素で構成されるかを示す。また、現状の建設生産システムの構成員についてこれら能力要素の保有状況について定量的に把握し、求められる保有水準との間のギャップ等を分析する手法について提案する。

(この後、この手法に基づき実社会に対するアンケート調査を行うに当たり、事前に広く意見を聞くもの。)

建設技術力研究小委員会 (第3種)

木下 賢司 (委員長：(株)熊谷組)

16:25~16:35

### 閉会の挨拶 : 運営小委員会 山本貴弘 小委員長

講演なし  
(資料のみ)

### 建設事業における多様性マネジメントに関する研究

近年、地球温暖化や生物多様性などの地球環境問題に関する社会的要請から、建設事業においても、これらに対する取り組み強化が求められてきている。また、市場規模の縮小やグローバル化に伴って、人的資源の多様化が求められてきている。これらの建設マネジメントの多様性について、建設マネジメントの現状と今後の多様性マネジメントのあり方について研究することを目的として、土木学会建設マネジメント委員会において、建設事業における多様性マネジメントに関する研究小委員会で2010年4月から2014年3月まで活動した。本文は、本研究小委員会の活動成果を取りまとめたものである。

建設事業における多様性マネジメントに関する研究小委員会 (第3種)

宇田川 義夫 (株式会社フジタ)



#### ■問い合わせ

公益社団法人 土木学会  
研究事業課 建設マネジメント委員会  
担当 久米村 秀明

〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目外濠公園内  
TEL: 03-3355-3559  
E-mail: kumemura@jsce.or.jp

  
土木学会  
The Construction Management Committee  
建設マネジメント委員会